

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援H I K A R I E 1st 2nd			
○保護者評価実施期間	2025年1月13日 ～ 2025年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	2025年1月13日 ～ 2025年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や実態に応じたグルーピングのため、個々の課題に応じた学習や活動に取り組むことができる。	お子様の実態や成長に合わせたグルーピングを組んで活動している。グルーピングを工夫することで、教科学習や日常生活の訓練、ソーシャルスキルトレーニング、体づくり、ビジネスマナー等、実態に応じて活動を計画して進めている。	学校や家庭と連携し、実態や課題の情報共有をして進めていく。また、指導員のスキルアップとして教材研究や障がい理解を深め支援に務めていく。
2	日々の活動内容やお子様の様子をアプリを使うことで、保護者に分かりやすくお伝えすることができる。また、保護者と事業所間での連絡事項や情報共有がスムーズに進めることができる。	日々の活動の様子や写真や動画をアプリでお知らせすることで、保護者の方がより事業所での様子が分かるように工夫している。スケジュールや連絡事項をアプリで管理することで、保護者に確実に周知することを心がけている。	一人一人のお子様の課題や保護者のニーズに対しての、日頃の様子をお伝えできるようにしていく。また、事業所での取り組みを家庭でも引き継ぐことができるように、連絡帳や懇談等でお伝えしていけるようにしていく。
3	特別支援や小中学校の教員、保育士、心理士、理学療法士と多方面から意見が出るので、幅広い活動内容を実施することができる。	活動の目的をもち、活動内容を立てることができる。職員間で同じ目線で目的意識をもつと共に、専門性を活かし、一人一人のお子様への課題、目的を考え、共通理解した上で計画、実行しています。	他グループの活動を参考にしたり、会議でアイデアを出し合ったりしながら支援に反映させていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会についての実施方法。	実態に応じて、地域の行事に参加し交流をすることができた。グループによっては、まずは事業所内の仲間同士の関わりを優先しているため、地域の他のこどもと活動が少なかった。	今後機会があればグループ毎に計画したいと思います。
2	保護者会についての実施。	事業所内のイベント等で保護者様にボランティアとして参加いただき、保護者同士が話をする機会を作り、交流を深めています。	今後は父母会等も開催させていただく予定です。
3			